



## 平成22年8月期 第3四半期決算短信

平成22年7月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社メディサイエンスプランニング  
 コード番号 2182 URL <http://www.mpi-cro.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 酒井 杏郎  
 (氏名) 野又 幹雄

TEL 03-5820-7071

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年8月期第3四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	4,876	—	186	—	180	—	24	—
21年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	9.41	—
21年8月期第3四半期	—	—

(注) 1 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、21年8月期第3四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年8月期第3四半期	3,311	—	1,340	—	40.5	515.94
21年8月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 1,340百万円 21年8月期 一百万円

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、21年8月期実績については記載していません。

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年8月期	—	15.00	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	—	70	—	60	—	△90	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名 株式会社シーボック ) 除外 1社 (社名 )  
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年8月期第3四半期 2,597,600株 21年8月期 2,597,600株

② 期末自己株式数 22年8月期第3四半期 1株 21年8月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年8月期第3四半期 2,597,600株 21年8月期第3四半期 2,565,549株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

なお、当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部において企業収益の改善や、個人消費の持ち直し等景気回復の兆しとなる動きが見られたものの、依然としてデフレ進行や深刻な雇用情勢等への不安が残り、景気下振れの要因となる懸念材料が払拭されない状況が続いております。

医薬品業界におきましても、後発医薬品の使用促進や薬価切り下げ等の医療費抑制策の基調が継続する等、引き続き厳しい環境下にあります。また、大型新薬の特許切れが相次ぐ「2010年問題」に直面し、新たな収益源となる新薬開発が一層重要な課題となっております。

その中で、当社グループの属するCRO業界は、製薬会社の研究開発費の増加や開発のスピードアップ、効率化を目指したアウトソーシング化の推進を背景として市場規模は拡大しておりますが、一方で、既存企業の規模拡大等により業界内の競争は激化しております。

このような厳しい環境のもと、当社グループは、中期経営計画「アクションプラン30」の達成に向けて、業務効率化、受注拡大等積極的に取り組んで参りました。それにより新規プロジェクトの受注件数は増加しているものの、大型案件の取り込みが少なく、業績は当初の予想を下回って推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,876,147千円、営業利益186,482千円、経常利益180,166千円、四半期純利益24,433千円となりました。

なお、平成21年9月1日付で、株式会社シーポックを子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

業務別の業績は、以下のとおりであります。

① モニタリング業務

当業務における売上高は、新規プロジェクトの受注件数は増加しているものの、大型案件の取り込みが少なく、4,169,362千円となりました。

② データマネジメント業務

当業務における売上高は、業務効率化、営業強化を図り、新規受注に努めておりますが、プロジェクトの終了による売上計上時期が第4四半期連結会計期間に集中していること等により、185,526千円となりました。

③ ファーマコヴィジランス業務

当業務における売上高は、既存プロジェクトの遂行及び特定派遣の受託拡大等により、331,991千円となりました。

④ その他業務

当業務における売上高は、当第3四半期連結会計期間に実施したCSO事業の譲受け等により、189,267千円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,311,794千円となりました。主な内容は、流動資産では、現金及び預金1,314,322千円並びに売掛金747,345千円等であり、固定資産では、のれん152,921千円及び投資その他の資産416,093千円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,971,599千円となりました。主な内容は、未払費用330,743千円、賞与引当金118,699千円、退職給付引当金173,728千円及び長期借入金729,302千円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,340,194千円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは458,490千円の収入となりました。この主な要因は、賞与引当金の減少120,093千円及び法人税等の支払い211,595千円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益64,293千円、売上債権の減少464,187千円及び未払費用の増加251,045千円等があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは323,348千円の支出となりました。この主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入73,776千円がありましたが、有形固定資産の取得による支出79,457千円、敷金及び保証金の差入による支出95,244千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出155,601千円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは562,783千円の収入となりました。この主な要因は、短期借入金の返済による支出800,000千円、長期借入金の返済による支出140,529千円及び配当金の支払い76,571千円があった一方で、短期借入れによる収入600,000千円及び長期借入れによる収入1,000,000千円等があったことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,314,322千円となりました。

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年10月9日付「平成21年8月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました平成22年8月期の通期連結業績予想を修正しております。詳しくは平成22年7月5日公表の「業績予想の修正及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、株式会社シーポックの全株式を取得し、平成21年9月1日付で完全子会社といたしました。これに伴い、平成22年8月期第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含め、四半期連結財務諸表を作成しております。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度において最初に実施される企業結合及び事業分離等から適用することができることになったことに伴い、平成22年8月期第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,314,322
売掛金	747,345
仕掛品	184,338
貯蔵品	146
その他	289,192
流動資産合計	2,535,345
固定資産	
有形固定資産	143,319
無形固定資産	
のれん	152,921
その他	64,114
無形固定資産合計	217,035
投資その他の資産	416,093
固定資産合計	776,448
資産合計	3,311,794
<b>負債の部</b>	
流動負債	
未払費用	330,743
賞与引当金	118,699
その他	512,529
流動負債合計	961,972
固定負債	
長期借入金	729,302
退職給付引当金	173,728
役員退職慰労引当金	103,926
その他	2,670
固定負債合計	1,009,627
負債合計	1,971,599
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	361,520
資本剰余金	261,081
利益剰余金	717,593
株主資本合計	1,340,194
純資産合計	1,340,194
負債純資産合計	3,311,794

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
売上高	4,876,147
売上原価	3,717,765
売上総利益	1,158,382
販売費及び一般管理費	971,899
営業利益	186,482
営業外収益	
受取利息	77
受取配当金	100
その他	16
営業外収益合計	194
営業外費用	
支払利息	6,329
その他	181
営業外費用合計	6,510
経常利益	180,166
特別損失	
移転費用	112,615
その他	3,257
特別損失合計	115,873
税金等調整前四半期純利益	64,293
法人税等	39,859
少数株主損益調整前四半期純利益	24,433
四半期純利益	24,433

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	64,293
減価償却費	52,298
のれん償却額	22,579
固定資産除却損	2,937
賞与引当金の増減額(△は減少)	△120,093
移転費用引当金の増減額(△は減少)	△18,799
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,066
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,476
受取利息及び受取配当金	△177
支払利息及び社債利息	6,335
売上債権の増減額(△は増加)	464,187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,464
未払費用の増減額(△は減少)	251,045
その他	△79,419
小計	676,267
利息及び配当金の受取額	177
利息の支払額	△6,212
その他の支出	△146
法人税等の支払額	△211,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,490
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△79,457
無形固定資産の取得による支出	△19,995
敷金及び保証金の差入による支出	△95,244
敷金及び保証金の回収による収入	73,776
事業譲受による支出	△46,885
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△155,601
その他	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323,348
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	600,000
短期借入金の返済による支出	△800,000
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△140,529
社債の償還による支出	△20,000
リース債務の返済による支出	△116
配当金の支払額	△76,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	562,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	216
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	698,141
現金及び現金同等物の期首残高	616,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,314,322

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

**【事業の種類別セグメント情報】**

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)

単一セグメントのため、該当事項はありません。

**【所在地別セグメント情報】**

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考」

前事業年度末及び前第3四半期累計期間に係る財務諸表

(1)貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	616,180
売掛金	1,188,897
仕掛品	175,884
貯蔵品	695
その他	191,096
流動資産合計	2,172,754
固定資産	
有形固定資産	98,293
無形固定資産	62,799
投資その他の資産	365,829
固定資産合計	526,922
資産合計	2,699,676
負債の部	
流動負債	
短期借入金	200,000
未払法人税等	84,619
賞与引当金	238,792
移転費用引当金	18,799
その他	465,016
流動負債合計	1,007,227
固定負債	
長期借入金	56,649
退職給付引当金	148,661
役員退職慰労引当金	93,449
固定負債合計	298,760
負債合計	1,305,987
純資産の部	
株主資本	
資本金	361,520
資本剰余金	261,081
利益剰余金	771,087
株主資本合計	1,393,688
純資産合計	1,393,688
負債純資産合計	2,699,676

(注)当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

科目	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	4,388,708
売上原価	3,138,275
売上総利益	1,250,433
販売費及び一般管理費	912,956
営業利益	337,476
営業外収益	
受取利息	323
受取配当金	100
助成金収入	330
その他	18
営業外収益合計	771
営業外費用	
支払利息	2,721
社債利息	434
支払保証料	350
株式交付費	6,131
上場関連費用	12,366
その他	586
営業外費用合計	22,590
経常利益	315,657
特別損失	
固定資産除却損	3,806
リース解約損	3,064
減損損失	23,709
特別損失合計	30,580
税引前四半期純利益	285,077
法人税等	119,163
四半期純利益	165,913

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、四半期財務諸表等規則に基づいて作成した四半期個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(3)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	285,077
減価償却費	44,046
減損損失	23,709
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 75,419
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,722
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,673
受取利息及び受取配当金	△ 423
支払利息及び社債利息	3,155
支払保証料	350
株式交付費	6,131
上場関連費用	12,366
売上債権の増減額(△は増加)	△ 74,848
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 13,447
未払費用の増減額(△は減少)	244,823
その他	26,437
小計	517,355
利息及び配当金の受取額	423
利息の支払額	△ 3,410
保証料の支払額	△ 641
法人税等の支払額	△ 296,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 22,817
無形固定資産の取得による支出	△ 20,487
敷金及び保証金の差入による支出	△ 99,032
敷金及び保証金の回収による収入	468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 141,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 1,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 60,003
社債の償還による支出	△ 110,000
株式の発行による収入	246,869
株式上場に伴う支出	△ 12,366
配当金の支払額	△ 72,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,699
現金及び現金同等物の期首残高	614,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	682,134

(注)当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、四半期財務諸表等規則に基づいて作成した四半期個別財務諸表を参考資料として記載しております。